



S.Naka

THE SATSUKI SHO

第84回 皐月賞 (GI)

1着 賞200,000,000円 2着 80,000,000円 3着 50,000,000円 4着 30,000,000円 5着 20,000,000円  
 付加賞 26,264,000円 7,504,000円 3,752,000円



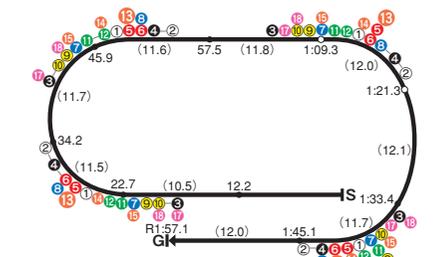
レース映像は  
 コチラでご覧  
 いただけます。

牡・牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬  
 負担重量 馬齢重量

2024.4.14 中山 晴・良 芝2000m (国際 種別)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑬	ジャスティンミラノ	牡 3	57	戸崎圭太	R1:57.1	5-5-4-4	34.7	512(+10)	4.8②	友道康夫(栗東)	119
2	⑫	コスモキュランダ	牡 3	57	J.モレイラ	クビ	9-8-9-8	34.2	500(-4)	15.8⑦	加藤士建八(美浦)	118
3	⑨	ジャンタルマンタル	牡 3	57	川田将雅	½	3-3-3-2	34.9	490(-2)	6.1③	高野友和(栗東)	117
4	⑧	アーバンシック	牡 3	57	横山武史	1½	13-13-13-10	34.1	510(-6)	14.2⑥	武井 亮(美浦)	114
5	⑭	シンエンペラー	牡 3	57	坂井瑞星	クビ	8-8-7-6	34.8	482(+2)	8.4⑤	矢作芳人(栗東)	113
6	⑩	レガレイラ	牝 3	55	北村宏司	クビ	14-15-14-13	33.9	456(+2)	3.7①	木村哲也(美浦)	109
7	③	エコロヴァルツ	牡 3	57	武 豊	1½	16-16-17-16	33.9	486(-10)	40.5⑪	牧浦充徳(栗東)	110
8	⑦	ルカランフィースト	牡 3	57	松山弘平	¾	11-11-11-10	34.6	468(+6)	27.2⑩	鹿戸雄一(美浦)	109
9	①	サンライズジバング	牡 3	57	菅原明良	クビ	7-7-7-8	35.3	510(-6)	27.5⑩	音無秀孝(栗東)	109
10	⑤	ミスタージーティー	牡 3	57	藤岡佑介	½	5-5-4-6	35.6	468(-4)	17.4⑨	矢作芳人(栗東)	108
11	⑩	ホウオウブロンサング	牡 3	57	菱田裕二	1	10-10-10-10	35.1	482(-2)	27.4⑩	矢作芳人(栗東)	106
12	⑫	サンライズアース	牡 3	57	M.デム-ロ	1½	11-11-11-13	35.2	532(-10)	54.2⑫	石坂公一(栗東)	103
13	⑭	ビザンチンドリーム	牡 3	57	B.ムルガハフ	クビ	16-16-16-15	34.7	456(+6)	16.4⑧	坂口智康(栗東)	103
14	④	シリウスコルト	牡 3	57	三浦皇成	½	2-2-2-2	36.6	472(-10)	176.4⑬	宗像義忠(美浦)	102
15	⑥	アレゴプリランテ	牡 3	57	横山和生	¾	3-3-4-4	36.3	466(-4)	274.0⑮	上原佑紀(美浦)	101
16	⑮	ウォーターリヒト	牡 3	57	幸 英明	2½	14-13-14-16	35.6	482(±0)	275.2⑯	河内 洋(栗東)	97
17	⑭	メイショウタリル	牡 3	57	浜中 俊	1	1-1-1-1	38.0	500(±0)	7.0④	石橋 守(栗東)	95
除外	⑯	ダノンデサイル	牡 3	57	横山典弘				504(-2)		安田翔伍(栗東)	

単勝④480円(2%) 複勝⑩220円(2%) ⑫390円(7%) ⑧220円(3%) 枠連⑥-⑦1,890円(8%)  
 馬連②-⑬3,550円(13%) ワイド②-⑬1,460円(18%) ⑧-⑫610円(4%) ⑩-⑫1,620円(21%)  
 馬単③-⑫5,570円(21%) 3連複⑥-⑫⑬5,940円(16%) 3連単⑩-⑫⑬29,240円(78%)  
 5重勝⑥⑦⑩⑬2,311,190円(192票) 対象競走: 阪神10R/中山10R/福島11R/阪神11R/中山11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m  
 34.2 - 45.9 - 57.5 47.8 - 35.8

アラカルト

- ・戸崎圭太騎手はエポカドーロで制した18年に続く皐月賞2勝目。JRA重賞は本年3勝目、通算73勝目
- ・友道康夫調教師はアンライバルドで制した09年に続く皐月賞2勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算65勝目
- ・キズナ産駒はJRA重賞通算28勝目
- ・勝ちタイム1:57.1はコースレコードおよびレースレコード
- ・ダノンデサイルは馬場入場後に疾病(右前肢跛行)を発症したため競走除外
- ・非抽選馬 2頭(シュバルツケゲル、ジュンテイク)
- ・ジャスティンミラノ、コスモキュランダ、ジャンタルマンタル、アーバンシック、シンエンペラーは日本ダービー(GI)に優先出走できる

# ジャスティンミラノ Justin Milano

牡 鹿毛 2021.4.9生  
北海道安平町 ノーザンファーム生産  
馬主・三木正浩氏 栗東・友道康夫厩舎  
馬名意味・冠名+イタリアの地名

マーゴットディドIRE系 F13-c

キズナ 青鹿毛 2010	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat Pacific Princess
マーゴットディドIRE Margot Did 鹿毛 2008	Exceed And Excel 鹿毛 2000	Danehill Patrona
		Shareef Dancer Caraniya
	Special Dancer 鹿毛 1997	

5代までのインブリード：Northern Dancer M4×S5×M5×M5

## INTERVIEW

伊藤隆行 厩舎長(ノーザンファーム空港)

### 今後も勝ち続けてほしいです

初経験のハイペースに戸惑いもあったのか、3コーナーから4コーナーにかけてのアクションがこれまでの2戦とは違っていました。ただ、直線に入る手前でハミを取ってくれましたし、そこからの脚色は自分の想像を超えていました。厩舎関係者の皆さんにとっては、いろいろない思いを背負っての競馬だったと思います。だからこそ今後も勝ち続けてほしいです。



Y.Machida

東京・芝2000mの新馬戦、共同通信杯に続き、無傷の3連勝を飾った本馬は4日前、落馬事故のためこの世を去った藤岡康太騎手が中間の調教をつけてきた経緯があり、戸崎騎手、友道康夫調教師は涙ながらに感謝の思いを語った。初の中山コース、前2戦とは勝手が異なる速い流れも克服し、従来のコースレコードを0秒7も更新。手向けの勝利を天に届け、同時に大きなポテンシャルも印象付けた皐月賞馬は、衆目の一致する最有力候補としてダービーに挑む。

## 父キズナ

北海道新栄町 株式会社ノースヒルズ生産 詳細はP.2参照

## 母マーゴットディドIRE

英、仏、首19戦5勝(ナンソープS・英<sup>G1</sup>、スカリーS・英L、ランドオバーンズS・英L、ロウザーS・英<sup>G2</sup>2着、プリンセスマーガレットS・英<sup>G3</sup>2着、アルパニオンS・英<sup>G3</sup>2着、パピリオンS・英L3着)、17年輸入

ミッションインパッシブル Mission Impassible(15 牝父Galileo)北米、仏11戦4勝(サンドリンガム賞・仏<sup>G2</sup>、クリテリウムデルエスト・仏L、クイーンエリザベス二世世チャレンジC・米<sup>G1</sup>2着)

マジックアティチュードGB(17 牝父Galileo)北米、仏13戦4勝(ベルモントオークス・米<sup>G1</sup>、シープスヘッドベイS・米<sup>G2</sup>、ヴァントー賞・仏<sup>G3</sup>、サントラリ賞・仏<sup>G1</sup>2着、クイーンエリザベス二世世チャレンジC・米<sup>G1</sup>3着)

ピエトラサンタ(18 牝父Frankel)持込 中央12戦0勝、地方3戦2勝 ㊦インザーギ(19 牝父ハーツクライ)中央2戦0勝

ジャスティンミラノ 本馬(21 牝父キズナ)中央3戦3勝(皐月賞<sup>G1</sup>、共同通信杯<sup>GIII</sup>) 獲得総賞金274,821,000円

※20、23(不受胎)、22(生後直死)

## 祖母スペシャルダンサー Special Dancer

イギリス産 伊3勝

スペシャルレゲエ Special Reggae(02 牝父Xaar)仏、ベルギー6勝

マーゴットディドIRE(08 前出)

トライコーン Tricorn(14 驕父Helmet)英7勝

## 曾祖母カラニヤ Caraniya

アイルランド産 英2勝

カジャリアン Cajarian(91 驕父Shaharastani)愛、北米、独5勝(メルドS・愛<sup>G3</sup>、レパーズタウンS・愛<sup>G3</sup>、バリサククススリーイヤーオールドレース・愛L、愛ダービートライアルS<sup>G3</sup>2着、ロイヤルホイヤーズ・愛<sup>G3</sup>3着)

カライヤマ Caraiyama(92 牝父Shaharastani)愛1勝、カラダク Caradak(フォレ賞・仏<sup>G1</sup>、セレブレイションマイル・英<sup>G2</sup>)の母、ディヴァイン Divine(バリオーガンS・愛<sup>G3</sup>)の祖母

スペシャルダンサー Special Dancer(97 前出)

ヴェリーシドニー Very Sydney(02 牝父Danehill)豪2勝(S A J CケンタウレアS・L)

アンドウイヤ Enduja(05 牝父Encosta De Lago)不出走、パレット Paret(ティラーS・米、ユナイティドネイションズS・米<sup>G1</sup>2着)の母

## 快足馬が無傷の3連勝で皐月賞制覇

ジャンタルマンタル、レガレイラをはじめとする2歳戦の実績馬と、次々に名乗りをあげてきた新星たちが一堂に会した皐月賞。1番人気にはホープフルSの覇者レガレイラが支持されたものの、76年ぶりの「牝馬制覇」に挑んだ2歳の中距離女王は6着に終わる。混戦ムードに断を下したのは、ジャステインミラノ。対抗候補と目されていたキズナ産駒がレース&コースレコードを塗り替え、無傷の戴冠を果たした。本馬場入場後に疾病(右前肢跛行)を発症したダノンテイシルが競走除外となり、17頭立てで争われたレース。ゲートが開くと毎日杯を6馬身差で逃げ切ったメイショウタバルが軽快に飛び出して先手を奪ったが、折り合いを欠いた同馬は暴走気味の大逃げを打つ。後続の各馬は自分のリズムを守って進み、ジャンタルマンタルは離れた3番手、ジャスティンミラノの戸崎圭太騎手は直後の5番手を追走。対して序盤のダッシュがつかなかったレガレイラは、後方3番手で末脚勝負に構えた。4コーナーに差し掛かると、ジャンタルマンタルが前に接近。直線入口で先頭に立った2歳王者は、見る見るうちに差を広げて押し切りを狙う。一方、勝負どころの反応が鈍かったジャステインミラノはいったん、完全に突き放されたものの、戸崎騎手の叱咤激励に応えて再び闘志に火がつくと、中団から追い込んできたコスモキュランダと並んで逆襲。ジャンタルマンタルを呑み込み、コスモキュランダの追撃も封じてゴールを駆け抜けた。